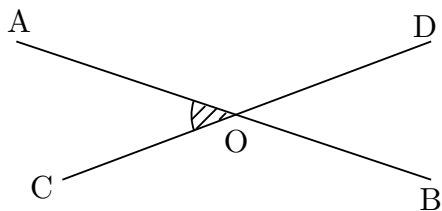


1年 平面図形

_____年 _____組 _____番 氏名 _____

1. 次の文は平面図形について書いた文である。□にあてはまる言葉または記号を書きなさい。

(1) 下の図の点 O を直線 AB と直線 CD の□という。また印をつけた角を角の記号を用いて□と表す。



(2) 2直線 l, m が交わらないとき, 2直線 l, m は平行であるといい, 記号で□と表す。

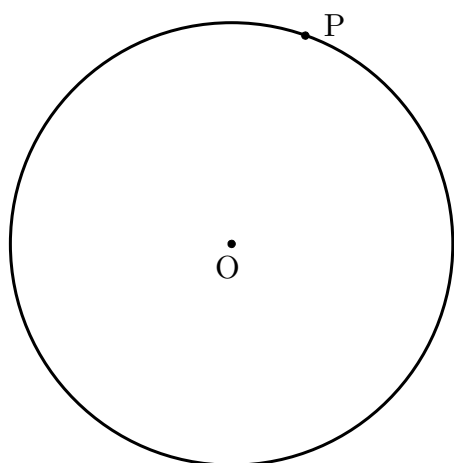
(3) 2直線 l, m が交わってできる角が直角であるとき, 2直線は垂直であるといい, 記号を使って□と書く。線分の中点を通りその線分に垂直に交わる線をその線分の□という。

(4) 円周の一部を□という。2点 A, B を両端とする□を記号で□と表す。

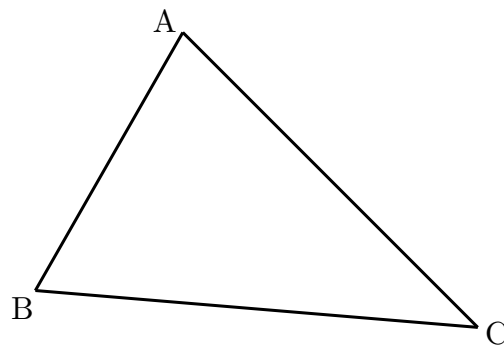
(5) 2つの半径と□で囲まれた図形を□という。□で2つの半径で作る角を□という。

(6) 円と直線が1点だけを共有するとき, この点を□という。

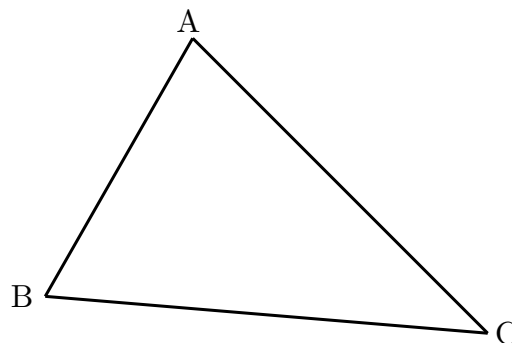
2. 点 P における円 O の接線 l を作図しなさい。(作図に使用した線は消してはいけません。)



3. $\triangle ABC$ の辺 AC の中点 M と $\triangle ABC$ を点 M を中心に点対称移動した $\triangle CDA$ を作図しなさい。(作図に使用した線は消してはいけません。)



4. $\angle A$ の二等分線 m と $\triangle ABC$ の辺 AC を対称の軸として $\triangle ABC$ を対称移動した $\triangle ADC$ を作図しなさい。(作図に使用した線は消してはいけません。)



5. 以下の文は正五角形の書き方の例である。文を参考に正五角形 ABCDE を作図しなさい。

- (1) 点 D の垂線上に $CD = DP$ となる点 P をとる。
- (2) 線分 CD の中点 M を中心に半径 MP の円を書き, 直線 CD の延長線上の交点を Q とする。
- (3) 点 C を中心に半径 CQ の円を書き線分 CD の垂直二等分線との交点を A とする。
- (4) 後は点 D を中心に半径 CD の円と (3) の円の交点を E, 点 A と点 C を中心に半径 CD の円の交点を B とする。

